

賞金総額 1,000 万円はどのスタートアップの手に！

## アグリテックコンテスト最終登壇企業決定

豊橋市の農業課題を解決するアイデアを全国の農業系スタートアップ（アグリテック）から募集するアグリテックコンテストを開催しています。

昨年度に続き3回目の開催となる本コンテストですが、過去最多※となる68社（69件）の提案のうち、市内農業者とのマッチングの確度等の評価項目で審査をした結果、8社をファイナリストとして選定し、賞金総額1,000万円（支援金）を目指して令和7年1月28日開催のファイナルデモデイに登壇いただくことが決定しましたのでお知らせします。

※過去アグリテックコンテスト応募社数 令和5年度52社、令和4年度33社

### TOYOHASHI AGRI MEETUP の流れ

交流会（6月、9月、3月）

アグリテックと農業者との交流機会の提供

マッチングプログラム（8月）

農業者の課題、協業ニーズを抽出

アグリテックコンテスト（9月～1月）

アグリテックからの提案を募集、**選考、入賞者の確定**

→ マッチング・プロジェクト組成 → 実証開発（R7～）

※専門家による過年度アグリテックコンテスト入賞企業6社への実証開発支援を並行して実施

### ファイナルデモデイ概要

開催日時：令和7年1月28日（火）13:00～16:30（受付開始12:30～）

場所：穂の国とよはし芸術劇場プラット アートスペース（豊橋市西小田原町123番地）

参加対象：生産者、事業会社など農業領域のイノベーションに関心ある方なら誰でも

参加人数：現地150名＋オンライン200名

内容及びスケジュール（予定）：以下

時間	内容
13:00～13:15	開会式
13:15～15:15	登壇企業8社のプレゼン（途中休憩あり）
15:15～15:55	昨年度入賞企業の進捗報告
15:55～16:20	審査結果発表、総評、閉会挨拶
16:20～	交流会

申し込み方法：下記 URL または 二次元コードを読み取り、応募フォームからお申込み下さい。

<https://x.gd/Kh77M>

【定員（現地 150 名、オンライン 200 名）に達し次第〆切】



**ポイント1** CIC Tokyo を拠点に様々なイベントで PR！過去最多の 68 社（69 件）の提案！

**ポイント2** 事務局の選考を通過した 8 社のアグリテック企業が登壇します

< 登壇企業一覧（五十音順） >

番号	企業名（所在地）	提案タイトル	解決する農業課題
1	AGRIST 株式会社（宮崎県）	ロボットと AI による農場から農業サプライチェーンの効率化	省人化と生産の最適化
2	株式会社 wead（愛媛県）	未利用資源を活用した土壌改良×バイオスティミュラント資材	作物の成長促進と病害虫抵抗性向上
3	株式会社 CULTA（東京都）	豊橋の次の 30 年を支えるイチゴ新品種導入 - 生産者の収益向上に向けて	利益向上のための新たな流通販売の仕組み
4	SACMOTs（福岡県）	農薬量や肥料量を 1/10 にする新技術「PDDS」の実証	化学農薬と化学肥料の使用量削減
5	MINORICA（東京都）	みんなが使える個人農家用 AI 選果機「YasAI」	選果作業の負担軽減
6	株式会社日本農業（東京都）	儲かる農業×東三河フードバレーの叡智で挑む新たな地産バリューチェーン構築	利益向上のための新たな流通販売の仕組み
7	株式会社 YAXIE（東京都）	ハイドロゲル技術を用いたサステナブルな次世代肥料の開発	環境保全と生産性向上
8	株式会社 WAKU（岡山県）	「グルタチオン」で光合成活性、農作物の減肥・高温障害解決へ	化学肥料の使用量削減

< 審査員一覧 >

所属・肩書	氏名
豊橋市長	長坂 尚登
豊橋農業協同組合 組合長	伊藤 友之
豊橋技術科学大学 大学院 工学研究科機械工学系 教授 兼 先端農業・バイオリサーチセンター長	高山 弘太郎
kemuri ventures 株式会社 パートナー	岡田 博紀
株式会社日本総合研究所 創発戦略センター エクスパート（農業）	三輪 泰史

登壇者及び審査員の詳細は TOYOHASHI AGRI MEETUP 特設ページ（下記 URL）にてご確認ください。

<https://toyohashi-agri-meetup.jp/demoday>



**問合先** 地域イノベーション推進室 室長補佐 小野（電話 51-3155）